3　令和５年度　志賀中学校グランドデザイン

石川の教育振興基本計画

基本理念

未来を拓く　心豊かな人づくり

・いしかわに誇りと愛着を持ち、世界と地域に貢献する人材の育成
・学力を高め、社会の変化に対応できる資質・能力の育成
・豊かな心と健やかな体を備えたしなやかでたくましい人づくりの推進
・信頼される質の高い学校づくりの推進

校訓　**自主 自律 創造**

目　標

志賀町教育目標

指導の重点

『志賀町学校教育モデル』の推進

①志賀町学校教育モデルの実践
②ICT教育の推進
③教職員の働き方改革の推進
④withコロナ社会における学校の新しい生活様式の実践

めざす学校像

□生徒と教師が共に生き生きと活動できる安全・安心な学校
□生徒と教師が共に学び合い、目標に向かって着実に成長できる学校
□家庭・地域と連携し、共に生徒を育てる開かれた学校

学校教育目標

自ら学び、心身を鍛え、
未来の創り手となる生徒の育成

めざす生徒の姿

□主体的に考え、他者と協働して課題解決に向かって努力する生徒（知）
□思いやりと感謝の心を持ち、自ら考え、判断して行動する生徒（徳）
□健康でたくましい心身をもち、粘り強く物事に取り組む生徒（体）

めざす教師像

□豊かな人間性と愛情をもち、生徒一人一人の可能性を引き出し、伸長する教師
□確かな指導力と使命感をもって指導し、生徒・保護者・地域から信頼される教師
□教師としての誇りをもち、自己研鑽に励み、生徒と共に成長する教師

育成を目指す資質・能力

□　他者の意見を聴いて、自分の考えを持ち、表現・発信する力
□　主体的に学びに向かう力

取組の重点

□　令和の日本型教育の実践

Ⅰ　志賀町学校教育モデルの実践
- 学校教育モデルの共通理解・組織的な実践
- 研究推進員会の機能化とPDCA確立
- 学校教育モデル実践発表会の開催

Ⅱ「主体的・対話的で深い学び」の視点による授業改善

⑴　PDCAによる検証と改善の推進
- 計画的な検証、要因を明確にした改善策の設定

⑵　単元デザインを核とした授業実践
- 学習者主体の単元デザインの作成
- 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実

⑶　学び合いを生かした授業の実践
- 志賀中授業スタイルの実践
（ゆさぶり・しかつなげ・振り返りの充実）

Ⅲ　ＧＩＧＡスクール構想の実現
- ＩＣＴ機器を効果的に活用した授業の推進
（電子黒板・タブレット・デジタル教科書の活用）

□　主体性の育成

Ⅰ　生徒主体の活動の推進

⑴　主体的に活動に取り組む意識の醸成
- 学習規律の徹底と自己指導能力の育成
（授業五か条・あいさつ五か条・掃除五か条）

⑵　生徒会活動の充実
- 生徒の主体性を育む学校行事の企画・運営
- 教科等の活動や特別活動等と委員会活動・学校行事との意図的・計画的なリンク

⑶　学級経営の充実
- 自己決定の場を教師が意図的に設定
- 承認と励ましの価値付け、振り返りの充実

Ⅱ　主体性育成の素地づくり
- 自主的・自律的な部活動の推奨
- 効果的な家庭学習の取組の充実
- 人間関係形成能力を育むキャリア教育の推進

学びの基盤

【安全・安心な学校を目指した取組の推進】
- 新しい生活様式を踏まえた感染症対策の徹底
- withコロナ社会における教育活動及び差別や偏見を生まない心の教育の充実

【小・中・高の連携の推進】
- 小・中・高の研修会、行事等への参加
- 小中の学習スタイルの共有
- 生徒会活動、ボランティア活動の交流

【情報発信と地域の教育力の活用】
- 学校・学年便り等の定期的発行とホームページの更新
- 地域連携、外部人材の活用
- 学校関係者評価等を生かした学校経営の改善

【働き方改革の取組の推進】
- 「C4th」の確実な活用による業務の効率化
（ワークライフバランスの意識）
- 時間外勤務時間80時間/月を超える教職員０の実現